

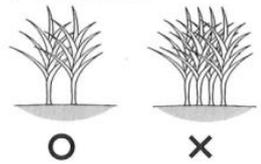


田植機の植え付け設定 (深度・密度)を確認しましょう!

植え付け深度が深いと初期生育を阻害します。

太植や早植は過繁茂を招き品質の低下につながります。

★植付本数

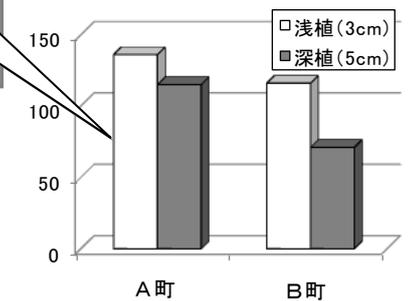


田植えのポイント

- ①深植えにしない ⇒ 3cmの浅植えに努めましょう。
※深植すると、早期に分げつが確保できません【図参照】。
- ②密植にしない ⇒ 植付密度は60株/坪(山間地は70株/坪)
- ③太植えにしない ⇒ 植付本数は1株当たり3~4本
- ④早植えにしない ⇒ 田植えは5月に入ってから活着を良くするため、好天日に行いましょう。

浅植えは、
初期生育を
促進します。

茎数：本/m² (5/18時点)



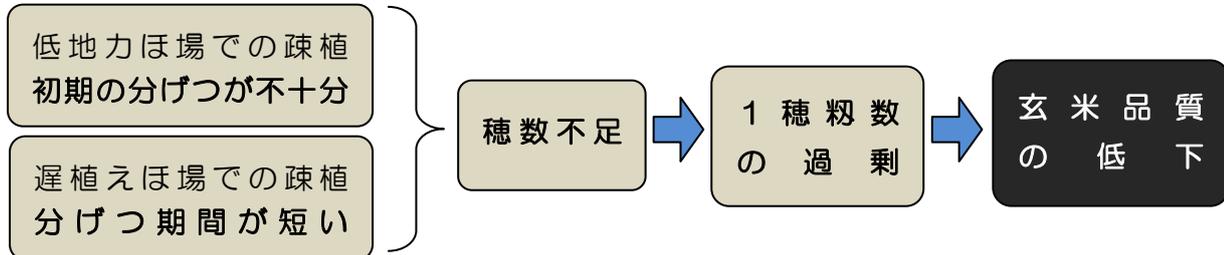
【図】植付深による初期生育の違い

栽植密度の適正化について

～過度の疎植(50株/坪以下)を見直そう～

疎植栽培は、5月上旬移植で、かつ平野部の地力が普通～高いほ場で導入できる技術です!

中山間地・低地力・田植えの遅いほ場では60株/坪を目安にしてください



田植機の設定



※植付密度、植付深変更方法はメーカー、型式によって異なります。

設定の詳細については農機センター、中古農機センター、北部農機センターまでお問い合わせください。

◆お問い合わせ先◆

■農機センター

Tel (0767) 76-1807

■中古農機センター

Tel (0767) 53-6447

■北部農機センター

Tel (0767) 66-1881